

第20回東北地区国立高等専門学校技術職員研修 参加報告

技術第2班 一条 洋和 技術第3班 志村 良一郎

1. 概要

平成30年8月30日から31日にかけて仙台高専名取キャンパスで開催された「第20回東北地区国立高等専門学校技術職員研修」に参加した。東北6県より技術職員が集まり、技術課題発表や専門および技術研修が行われた。

2. 日程

<1日目>

13:20-	開講式
13:40-	基調講演
14:30-	一般研修
15:10-	技術課題発表
19:00-	情報交換会

<2日目>

9:00-	専門研修
10:10-	実技研修1
13:00-	実技研修2
15:10-	閉講式
15:40-	施設見学及び専門分野交流

3. 各日程の詳細

○基調講演

仙台高専の福村裕史校長より、「これからの技術職員に期待すること」という題目で基調講演があった。技術と科学というキーワードを基に起源から現在、そしてこれからの未来について考えることが出来た。

○技術課題発表（ポスター発表）

日々の研究報告や実験実習の事例報告などが

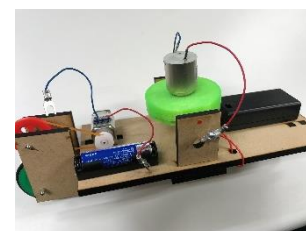
行われた。我々の発表に関しては、「Microsoft AzureによるWebサイト管理」、「粉碎によるバイオマス資源の構造制御と有効活用」の題目で各自発表を行った。ポスター形式は本研修初の試みであったが、参加者と発表者が積極的に交流し意見交換を行っており同じ職員として本音を聞くことのできた時間であった。



ポスター発表風景

○実技研修

2日目に実施された実技研修は、わくわく体験教室とガラス加工（トンボ玉作製）の2部構成であった。小学生や中学生などを対象としたイベント等で実際に仙台高専が行っているテーマについて体験した。機械、電気、化学など分野を跨いだ研修が多くあり新鮮な気持ちで臨むことが出来た。また他校の実施内容を目で見て手で触れることは貴重な体験であり、本校での今後の実習にも役立てたい。



実技研修で作製した
ジャイロを用いた自走2輪車

4. おわりに

今回の研修を通して東北各高専の特色や現状について深く話を聞くことが出来た。本校の技術職員として高専の発展や学生のために今後行動すべきことを再認識させられたいい機会であった。また、2年後には本校が研修の開催校にあたるため今回のような有意義な研修になるよう内容を考えていきたい。